

令和5年度病害虫発生予察注意報第3号

令和5年9月4日
岐阜県

作物名 果樹（カキ、ナシ、リンゴ、ミカン等）

病害虫名 果樹カメムシ類
（主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ及びクサギカメムシ）

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 9月上旬以降

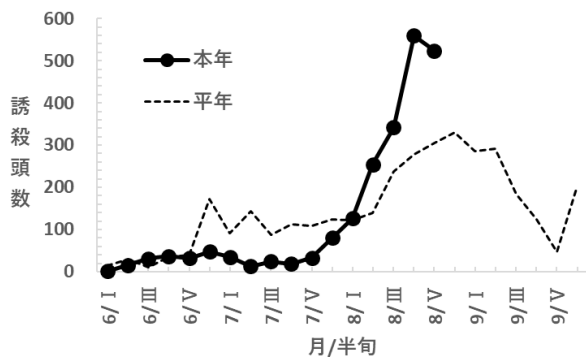
3 発生程度 多い

4 予報の根拠

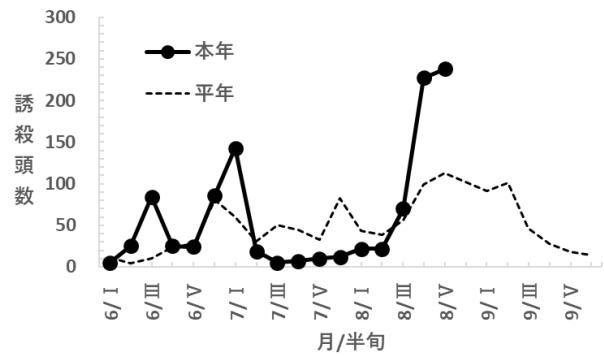
- (1) 各地域に設置した予察灯における7月第6半旬から8月第5半旬のチャバネアオカメムシ誘殺数は、岐阜市則松1,886頭（平年1,206.2頭）、美濃加茂市山之上町591頭（平年432.8頭）、高山市国府町289頭（平年51.6頭）と、平年の1.4～5.6倍となっている（図）。
- (2) 8月下旬におけるヒノキ毬果口針鞞数（カメムシの吸汁痕）は、岐阜市秋沢で1果当たり18.0本、大野町寺内で13.0本と、山林からの離脱の目安とされる25本／果に近づいている。
- (3) 岐阜・西濃および中濃地域の果樹園では、すでに第一世代成虫の飛来が確認されており、今後山林から離脱するカメムシ類がさらに多くなる恐れがある。
- (4) 名古屋地方気象台の1か月予報（8月31日発表）では、今後の気温は平年より高いと予想されており、本虫の活動に好適な条件が続くため、園内への飛来と果実の吸汁による被害果の発生が懸念される。

5 防除上の注意事項

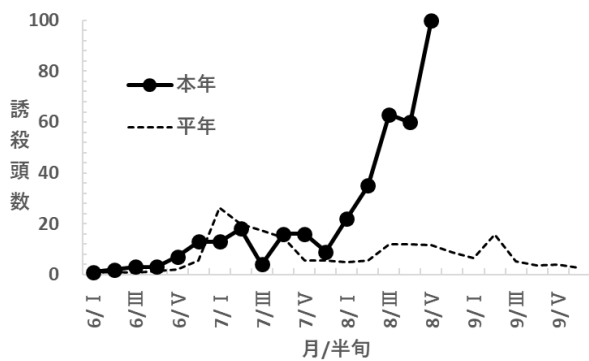
- (1) 果樹カメムシ類の被害の発生には地域差や園地差があるので、園内へ飛来を確認したら防除を実施する。なお、薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果的である。
- (2) 果樹カメムシ類の飛来は夜温及び湿度が高く、風の弱い日に多くなるので注意する。
- (3) 防除に当たっては、周辺環境、気象条件等に注意し、薬剤の飛散防止に努める。
- (4) 農薬の使用にあたっては、最新の登録情報を参照し、適正に使用する。
(<https://pesticide.maff.go.jp/> 農薬登録情報提供システム)



岐阜市則松



美濃加茂市山之上町



高山市国府町

図 予察灯におけるチャバネアオカメムシ誘殺数